

定期報告(ウルグアイ政務・経済:2024年1月)

【ポイント】

内政

- 今年10月の大統領選挙に向けた選挙活動に従事するため、ラカジェ・ポウ政権における国防大臣、社会開発大臣、観光大臣、労働社会保障大臣の4閣僚が近く辞任する見通し。
- 2023年腐敗認識指数ランキングが発表され、ウルグアイは中南米で最も汚職の少ない国となった。

外交

- 2日、外務省は、能登半島地震に関し、日本政府及び同国民に連帯の意を伝える旨のコミュニケを発出。
- 24日、パガニーニ外務大臣が、パラグアイで開催されたメルコスール外相会合に出席。
- 29日、外務省は、ベネズエラ大統領選挙の野党候補者マリア・コリナ・マチャド氏が、ベネズエラ当局により出馬資格を停止されたことを懸念する旨のコミュニケを発出。

経済

- 2022年に過去最高額を記録したウルグアイの輸出額は、中国への輸出減等により、2023年は13%減少。
- 昨年12月の失業率は7.8%、就業率は58.9%で、ともに前月比で改善。

【本文】

1 内政

(1) 大統領選挙に向けた4閣僚の辞任見通し

当地報道によれば、今年10月の大統領選挙に向けた選挙活動に従事するため、ラカジェ・ポウ政権における4名の閣僚が近く辞任する見通し。与党国民党のガルシア国防大臣及びレマ社会開発大臣は、同党のデルガド前大統領府長官(昨年12月に大統領府長官を辞任)の大統領選挙に向けた選挙活動を支援するため、連立与党コロラド党のビエラ観光大臣と連立与党独立党のミエレス労働社会保障大臣は、大統領選挙に立候補するため、それぞれ大臣職を辞任する見通しである。

(2) 東部ウマ脳炎のヒト感染

30日、厚生省は、ウルグアイにおいて東部ウマ脳炎の初のヒト感染(42歳の男性)

を確認した旨発表した。厚生省は、現在までに確認されている感染例は一名であるが、無症状の症例が存在する可能性があるとして、国民に対し、蚊対策を講じるよう要請した。

(3) 腐敗認識指数で中南米第1位

国際NGOのトランスペアレンシー・インターナショナルが、2023年腐敗認識指数ランキングを発表し、ウルグアイは日本、ベルギーと共に16位で、中南米で最も汚職の少ない国となった。

2 外交

(1) 能登半島地震の被害に対する連帯表明

2日、外務省は、能登半島地震に関し、ウルグアイ政府及び同国民の名において、1日に石川県で発生し、多くの被災者と取り返しのつかない人的損失を引き起こした地震の被害に対し、日本政府及び同国民に連帯の意を伝達する旨のコミュニケを発出した。

(2) エクアドルの治安情勢に関する声明

10日、外務省は、エクアドルの複数の都市で組織犯罪集団が引き起こした暴力事案により、同国の治安が悪化している状況に対して、エクアドル当局への連帯の意を表明するとともに、同国の国内秩序が迅速に再構築されることを注視する旨のコミュニケを発出した。

(3) グアテマラ新大統領就任への歓迎表明

15日、外務省は、ベルナルド・アレバロ・グアテマラ新大統領の就任を歓迎するとともに、過去に起こった、憲法で定められた政権移行を妨害しようとする行為に遺憾を表明する旨のコミュニケを発出した。

(4) パガニーニ外務大臣のメルコスール外相会合出席

24日、パガニーニ外務大臣は、パラグアイで開催されたメルコスール外相会合に出席した。同会合に出席した加盟国外相は、メルコスール統合プロセスの現状と現実、及びメルコスールの域内・域外関係における将来の展望について話し合った。

(5) パガニーニ外務大臣とアルゼンチン外務大臣の会合

24日、パラグアイ訪問中のパガニーニ外務大臣とモンディーノ・アルゼンチン外務大臣は、メルコスール外相会合前にバイ会合を行い、二国間及び地域の主要アジェンダについてレビューするとともに、メルコスールの活性化を進展させることへの恒常

的な意思を再確認した。

(6)ベネズエラ・マチャド議員の出馬資格停止に対する懸念表明

29日、外務省は、今年のベネズエラ大統領選挙の候補者であった野党リーダーのマリア・コリナ・マチャド氏が、ベネズエラ当局により出馬資格を停止されたことに関し、昨年10月のバルバドスにおけるベネズエラ与野党間の合意に反し、自由で民主的かつ競争的な選挙の実施を直接的に脅かすことから、大きな懸念をもって留意する旨のコミュニケを発出した。

3 経済

(1)2023年の輸出額減少

2日、ウルグアイ21(貿易投資促進庁)が年次報告書を発表、2022年に過去最高額を記録したウルグアイの輸出額は、2023年は13%減少となった。これは、中国への輸出が減少したことによるものであるが、中国は依然ウルグアイ最大の輸出先であり、ブラジル、EU、米国がこれに続く結果となった。

(2)雇用状況にかかる統計

24日、国家統計局(INE)は、昨年12月の失業率は7.8%で前月の8.3%から改善した旨、及び、昨年12月の就業率は58.9%で前月の58.4%から上昇した旨を発表した。ウルグアイにおける就業者総数は約172万人強となり、昨年12月時点の就業率は2017年以来最高となった。

4 要人往来

- ・12日～24日:ピエラ観光大臣のスペイン訪問(イベロアメリカ観光大臣・企業家会合)
- ・13日～14日、アルベルトーニ外務次官のグアテマラ訪問(グアテマラ新大統領の就任式)
- ・23日～24日:パガニーニ外務大臣のパラグアイ訪問(メルコスール外相会合)